

ドイツにおける規制緩和の実情と問題点

千葉大学 手塚 和彰

1. はじめに

規制緩和のとらえかた

規制の意味

service public と public utilities の問題

電気、上下水道、ガス、電気通信、輸送などの経済分野

社会保障、教育、防衛、環境

市場経済にゆだねて発展できない部門

市場の失敗への対処や所得再分配機能

EU レベルでの規制緩和とドイツ一国での規制緩和

通貨統合での出発と金融再編

二一ス欧州理事会における機構改革と EU の拡大、EU 基本憲章

EU 加盟、拡大と東西の壁崩壊という二つの試練、産業空洞化、国際的な企業展開による先進国間競争

人の移動の自由化と高失業

ヨーロッパ会社法

2. 具体例として、チェコの加盟問題にみる EU の対処

電力問題

鉄鋼の近代化、合理化 (Moderatoren)

労働力移動の自由化

投資国としてのチェコ

3. ドイツの規制緩和の流れ

エネルギー

通信、情報

労働市場

金融

4. 終わりに

規制緩和による痛み - 規制緩和による失業増加

